

黒松内岳（739，8m）重滝右股沢

日時：平成26年7月6日（日）

天候：曇り

参加者：CL小山内、

A班=L藤木、SL西田（芳）、酒井、後藤、笹山、西田（昌）、水江

B班=L山岸、SL長沼、近藤（総括）、東海林、穴吹、河村（勝）、川村（純）

一昨年は重滝左股沢をやっている。昨年は雨で流れたため、期待が膨らんでいた。予報では当日は曇り、しだいに晴れる予報で、いい沢日和だ。

6：00 伊達道の駅集合。黒松内道の駅で後藤さんと合流、登山口へ。登山口には数台が。既に出発していた。

8：18 準備体操後、重滝右岸高巻きから入渓。しかし、川床へ下りる地点を探すのにてこずり川床へは30分ほどかかって降りる。川は濁っている。やはり先行者がいるようだ。

9：04 斜めにバンドが走る10mの滝。左岸を高巻く。ここから約2時間の間に滝やナメが連続して、楽しませてくれる。10mの滝では小山内CLが果敢に直登。

10：50 気温は高いはずなのに、ひんやりしているなど思っていたら雪渓が谷を埋めていた。高さ3mの雪渓が4～50mも続いていた。

12：00 （Cot520）

12：30 （Cot575分岐）当初の予定ではピーク到着後に昼食の予定だったが、ここで昼食休憩。斜度がだいぶきつくなってきた。この辺りから笹がかぶってくる。また、浮き石に神経を使いながらの登攀となる。「ラーク」の掛け声が連続するようになり、一個が最後尾の小山内CLの左ひざを直撃するも大事には至らなかった。（夜痛まなかったでしょうか）。

13：55 急こう配のきつい笹藪こぎで稜線に出る。

14：07 踏みわけをたどりながら無事ピークへ。予定より1時間45分遅かったが思





ったより確保が必要な滝や、ちょっとしたなめでも滑ってお助けひもを出す場面が多かった事を考えると妥当か。安全登山が何より。

1時間半ほどかけて登山口着。下山では足にきているのか、フェルト靴のせいか、尻もちをつく人が多かった。

昨年は参加しようとしたすべての沢が悪天候のため中止となり久しぶりの沢となりましたが、大いに楽しませてもらいよい一日となりました。



記録 水江